

報道関係者各位

2021年5月31日
株式会社テリロジー
(JASDAQ スタンダード 証券コード: 3356)

テリロジー連結子会社テリロジーサービスウェア、NTT東日本と連携し、 エイジェックグループ受託の自治体新型コロナワクチン集団接種会場に 「みえる通訳」導入

株式会社テリロジー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：阿部 昭彦、以下「テリロジー」）は、当社の ICT サービス提供事業連結子会社である株式会社テリロジーサービスウェア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：鈴木 達、以下「テリロジーサービスウェア」）が開発及び販売を行う多言語映像通訳サービス「みえる通訳」について、総合人材会社の株式会社エイジェック（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：古後 昌彦、以下「エイジェック」）並びにグループ会社である総合医療人材会社のアルファビリティ株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：杉江 忠、菊地 吉信、以下「アルファビリティ」）が運営を受託する全国の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場に導入されたことをお知らせいたします。

なお、エイジェック並びにアルファビリティにおける「みえる通訳」の提案は、昨年12月より新たにパートナーとなった東日本電信電話株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：井上 福造、以下「NTT 東日本」）と連携し進めており、この度、全国5つの自治体、16の集団接種会場にて48IDの受注となります。

■ 導入の経緯

今般、自治体から新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の運営を受託するアルファビリティに、NTT 東日本が「みえる通訳」の提案を行ったところ、13言語と手話が利用出来る利便性と、定額25,000円というコストパフォーマンスをご評価頂き、外国人住民及び聴覚障がい者対応の用途にて導入頂く運びとなりました。

5月より順次、エイジェックグループが受託する東京都、神奈川県、栃木県、福島県の中の5つの自治体、16の集団接種会場において、外国人住民や聴覚障がい者が来場した際に、受付・事前問診などの場面で「みえる通訳」をご活用頂きます。

■ 今後の展望

全国の自治体業務を幅広く受託しているアルファビリティと、東日本エリアに29支店を設け幅広く営業活動を展開するNTT 東日本と連携し、引き続き全国の自治体における外国人住民及び聴覚障がい者とのコミュニケーションの課題を解決すべく、積極的な提案活動を展開してまいります。

なお、発表内容の詳細につきましては、別紙「NTT 東日本と連携し、エイジェックグループが受託する自治体の新型コロナワクチン集団接種会場に「みえる通訳」を導入」をご参照ください。

本リリースに記載されている社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

【株式会社テリロジーサービスウェアについて】

株式会社テリロジーサービスウェアは、2017年に会社設立、ビジュアルコミュニケーションに関するソリューション事業やネットワークセキュリティに関するネットワークサービス事業を中核に、市場及び顧客ニーズに対応したICTソリューションサービス事業を展開しているサービス提供事業会社です。

顧客は大企業や中堅・中小企業、リテール販売事業を中心に1,000社を超え、月額課金のICTサービス関連ビジネスでは豊富な経験と実績を上げています。

(<https://www.terilogy.com/company/profile/serviceware.html>)

本件に関するお問い合わせ先

【サービスに関するお問い合わせ先】

株式会社テリロジーサービスウェア
ソリューション事業部
インバウンドソリューショングループ
TEL：03-4550-0556、FAX：03-3237-3316
e-mail：info@mieru-tsuyaku.jp

【報道関係者お問い合わせ先】

株式会社テリロジー
マーケティング（広報宣伝）担当 齋藤清和
TEL：03-3237-3291、FAX：03-3237-3316
e-mail：ksaito@terilogy.com



NTT東日本と連携し、エイジェックグループが受託する自治体の新型コロナワクチン集団接種会場に「みえる通訳」を導入

株式会社テリロジーサービスウェア(東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 達、以下、「テリロジーサービスウェア」)は、総合人材会社の株式会社エイジェック(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:古後 昌彦、以下、「エイジェック」)並びにグループ会社である総合医療人材会社のアルファビリティ株式会社(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:杉江 忠、菊地 吉信、以下、「アルファビリティ」)が運営を受託する全国の新型コロナウイルスワクチン集団接種会場において、多言語映像通訳「みえる通訳」を導入したことをお知らせいたします。

なお、エイジェック並びにアルファビリティにおける「みえる通訳」の提案は、昨年12月より新たにパートナーとなった東日本電信電話株式会社(東京都新宿区、代表取締役社長:井上 福造、以下、「NTT東日本」)と連携し進めており、この度、全国5つの自治体、16の集団接種会場にて48IDの大型受注となりました。

エイジェック及びアルファビリティの「みえる通訳」受注について



■導入の経緯

今般、自治体から新型コロナウイルスワクチン集団接種会場の運営を受託するアルファビリティに、NTT東日本が「みえる通訳」の提案を行ったところ、13言語と手話が利用出来る利便性と、定額25,000円というコストパフォーマンスをご評価頂き、外国人住民及び聴覚障がい者対応の用途にて導入頂く運びとなりました。

5月より順次、エイジェックグループが受託する東京都、神奈川県、栃木県、福島県の中の5つの自治体、16の集団接種会場において、外国人住民や聴覚障がい者が来場した際に、受付・事前問診などの場面で「みえる通訳」をご活用頂きます。

■採用の決め手

「みえる通訳」の採用決定理由として、下記を挙げて頂きました。

- ・ワクチン接種会場は土日の利用が多くなることが想定されるため、24時間365日対応可能な点
- ・通信機能付きのタブレット端末の貸出を行っており、直ぐに導入・利用が可能な点
- ・機械翻訳ではなく人が対応する通訳でありながら、25,000円/月の料金で、コストパフォーマンスが高い

■今後の展望

全国の自治体業務を幅広く受託しているアルファビリティと、東日本エリアに29支店を設け幅広く営業活動を展開するNTT東日本と連携し、引き続き全国の自治体における外国人住民及び聴覚障がい者とのコミュニケーションの課題を解決すべく、積極的な提案活動を展開してまいります。

「みえる通訳」について

タブレット・スマートフォンを利用したリアルタイム映像サービス

「みえる通訳」は、タブレットやスマートフォンを使って、いつでもどこでもワンタッチで、通訳オペレーターにつながり、お客様との接客をサポートする映像通訳サービスです。日本語と外国語が話せる専門の通訳オペレーターとFace to Faceでお互いの顔や表情を見ることで、微妙なニュアンスや機械では判別できない難しい内容でも会話することができます。

また、通訳コールセンターは、英・中・韓・タイ・ロシア・ポルトガル・スペイン・ベトナム・フランス・タガログ・インドネシア・ネパール・ヒンディーの13言語で24時間365日対応(一部言語を除く)しております。



1. 外国人のお客様が来店



2. 店頭スタッフが言語を選択



3. 通訳オペレーターに接続



4. 映像を見ながら通訳開始

手話通訳(日本手話)

2016年に施行された「障害者差別解消法」の観点から、事業者は障がいのある方々への合理的配慮を提供することが求められております。「みえる通訳」は手話通訳を全プランに標準提供しており、「みえる通訳」を導入している全ての企業や公共交通機関、行政機関などで手話通訳が利用可能となります。



料金プランが定額なので安心して利用できる

「みえる通訳」は、完全定額制の料金体系なので、何回通訳を利用しても月額料金は変わりません。

従量制のサービスは、使用した分の費用が追加で発生してしまうので、利用回数によっては、予想以上に費用がかかる場合もあり、費用を抑えるためになるべく利用しないという本末転倒な結果になることもありますが、「みえる通訳」なら安心してご利用いただけます。

みえる通訳サービスサイト: <https://www.mieru-tsuyaku.jp/>

【会社概要】

会社名 株式会社テリロジーサービスウェア
 代表者 代表取締役社長 鈴木 達
 業務内容 ICTサービスソリューションの企画・開発・販売
 所在地 東京都千代田区九段北1-13-5 ヒューリック九段ビル4F
 会社HP <https://www.terilogy.com/company/profile/serviceware.html>

～本リリースに関するお問合せ先～
 株式会社テリロジーサービスウェア
 ソリューション事業部 みえる通訳担当
 E-mail: info@mieru-tsuyaku.jp
 TEL: 03-4550-0556
 FAX: 03-3237-3316